四條畷市議会議長（無所属）　一級建築士

作成：2016.09.20
市政報告10月号

長畑ひろのり News vol.108

(C)2013 Kohama Studio

河北新聞のリニア記事より

８月１５日発行の河北新聞に私の記事が掲載されました。確か７月の終わり頃だったと思います、記者が議長室へ来られ、リニア駅を生駒市高山地区へ誘致したい旨を教えて欲しいと言われました。７月２１日の日本経済新聞に、北陸新幹線延伸がリニア接続にも期待ができる等、新たな展開もありましたのでインタビューを受けました。河北新聞は、その時の内容をまとめたものです。私を持ち上げ過ぎている部分が沢山ありますが、今まで訴えてきたことは正しく含まれていましたので、該当記事を全文以下に引用させて頂きます。

また、長畑ひろのり News vol.089 に「起爆剤はリニア駅の誘致」と題して、関西文化学術研究都市周辺の地図も載せながら詳しく説明しています。そちらも併せてお読み頂ければ、より解りやすいと思います。

忍ヶ丘に新たなスーパーが！

長年にわたり地域の皆様に親しまれた忍ヶ丘本通り商店街のスーパー「万代」が、今年の２月末をもって閉店となり、近隣の方にとって不便な状況が続いています。

その跡地については、９月９日付けで四條畷市へ提出されました特定建設作業実施届出書により明らかとなりました。その届出書によりますと、建設工事の名称が「サンディー四條畷店新築工事」となっていますので、雁屋にあるスーパー「サンディ」と同じスーパーになるのは間違いないでしょう。

ただし、届出書から判断できる工事内容は、土間のコンクリート部分の解体が１０月２９日迄しかわかりません。それ以外、つまり建て替えの有無やオープン日時等につきましては、都市計画課に建築確認申請、また、事前相談や協議もありませんので、市政報告作成時では判断できない状況です。

四條畷市・長畑浩則議長（畷ビジョンの会、３期）の思いが実った―２００７年に品川-名古屋間の先行開業を目指すリニア中央新幹線の大阪延伸ルートが奈良ルートになる事が７月２０日、JR東海の発表で明らかになった。予てからリニア駅を生駒高山地区に誘致し「京阪奈学研都市地域に大きな経済効果をもたらす事に繋げて活力を呼び込みたい」と議会でも訴え続けて来た長畑議長の念願が叶い、リニア駅の誘致実現が四條畷市にも経済的相乗効果が生まれる事に期待を寄せている。

長畑議長は「関西文化学術研究都市は３府県８市町村跨り、駅や各研究施設建設地区がブドウの房のように分散配置しているために、全体を統括する事が難しい」と指摘した上で『今後は全体を繋ぐ公共交通機関の整備』を訴え続けて行く事の必要性を説いている。

長畑議長

四條畷　長畑議長　リニアへの思い実る　『奈良ルート』確定で夢一段と

四條畷市・長畑浩則議長（畷ビジョンの会、３期）の思いが実った――２００７年に品川-名古屋間の先行開業を目指すリニア中央新幹線の大阪延伸ルートが奈良ルートになる事が７月20日、JR東海の発表で明らかになった。予てからリニア駅を生駒高山地区に誘致し「京阪奈学研都市地域に大きな経済効果をもたらす事に繋げて活力を呼び込みたい」と議会でも訴え続けて来た長畑議長の念願が叶い、リニア駅の誘致実現が四條畷市にも経済的相乗効果が生まれる事に期待を寄せている。

長畑議長は「関西文化学術研究都市は３府県８市町村跨り、駅や各研究施設建設地区がブドウの房のように分散配置しているために、全体を統括する事が難しい」と指摘した上で『今後は全体を繋ぐ公共交通機関の整備』を訴え続けて行く事の必要性を説いている。

それにしても、日本経済の将来を担うほどの『リニア敷設』と言う国家プロジェクトに向け、人口僅か５万なんなんとする都市の１議員から発信された希望の光が、結果論とは言え国家の中枢に届いた意義は決して小さくない。長畑議長の一連の行為は『努力は裏切らない』事に加え『諦めなければ何時かは叶う』と言う、人生に欠かせない大切な教訓も導き出す結果となっている。

こうした意味でも長畑議長の弛みない努力は、大きな成果をもたらしたと言えるようだ。リニア敷設計画に連動して北陸新幹線も新大阪までの延伸が計画されており、関西文化学術研究都市周辺を経由する南側ルートの案があり、南側ルートになればリニア生駒高山の中間駅との接続も考えられる。学研都市へのアクセスもしやすくなり、夢は現実味を帯びて来て膨らむばかりだ。

長畑議長は市内田原地域の利便性をもっと高めて行きたいと語り「リニア、北陸新幹線の駅が田原地域から３キロメートル程度の距離の生駒高山地区に来るとなれば、街も活性化して来て益々人を呼び込める。周辺の私鉄、京阪私市からも延伸して来る可能性もあり、この地域が大きな拠点になる事が非常に楽しみ」と四條畷の未来図を思い描き「より良い市民の暮らし作りを目指したい」と話す。

毎月発行している“長畑ひろのり News”を、約半年ごとに送っています。
送付の必要な方は、送付先を FAX もしくは e-mail にてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所　FAX 072-877-1280
e-mail　sky@nagahata.jp

http://nagahata.jp

Instagram　mixi　twitter　facebook　ココログ

中学校整備事業の業者案が明らかに

８月１９日の議会全員協議会において、四條畷中学校及び四條畷西中学校整備事業に係る業者の提案内容を市教育委員会から説明を受けました。主な整備内容につきましては、右表の通りとなります。

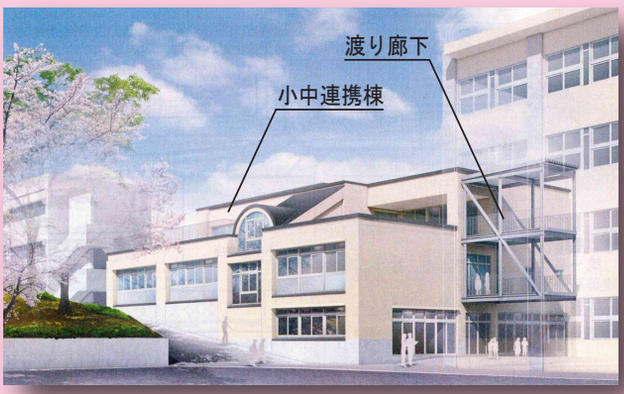
学校名	整備内容
四條畷中学校	・小中連携棟整備（技術棟撤去跡地） ・体育館非構造部材の耐震化
四條畷西中学校	・校舎棟大規模改造 ・体育館棟、プール棟整備（小中連携スペースを含む）
共通事項	・クラブ活動用倉庫の整備 ・夜間グランド照明のＬＥＤ化 ・特別教室への空調設置 ・トイレ改修（ドライ方式への改修、洋式化、照明ＬＥＤ化等） ・ＩＣＴ環境の整備（体育館、普通教室、特別教室） ・防災拠点整備（蓄電池、マンホールトイレ、かまどベンチ等）

・四條畷中学校「小中連携棟」

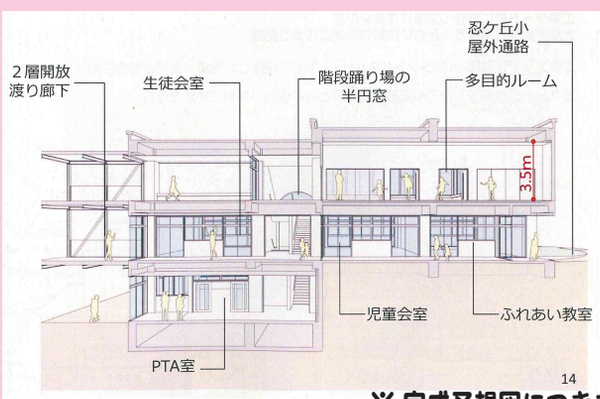
下記完成予想図はほぼ北側から見たもので、中央部分が小中連携棟、両サイドが既存校舎です。この完成予想図において注意して頂きたいのは、右（西）側の四條畷中学校校舎部分は一部スケルトンで表示されていることです。この角度からですと、実際は渡り廊下及びその周辺については見えません。また、左（東）側は忍ヶ丘小学校です。

完成後、小中連携棟で重要なのは、運営上の動線計画であるのは明らかであり、業者は以下の通り提案されています。

- 忍ヶ丘小学校とのつながりは、小学校１階と小中連携棟２階を段差のない屋外階段でつなぎます。
- 四條畷中学校とのつながりは、中学校２、３階と小中連携棟２、３階を渡り廊下でつなぎ、中学校１階を渡り廊下の下で段差なく小中連携棟１階とつなぎます。
- 四條畷中学校体育館とのつながりは、中学校体育館１階と小中連携棟２階とを渡り廊下によってつなぎます。



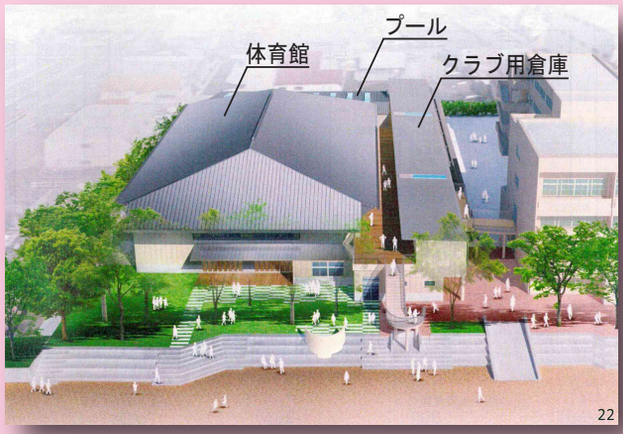
完成予定は２０１８年８月中頃と、当初の計画より約４ヶ月の工期短縮を業者は考えられています。



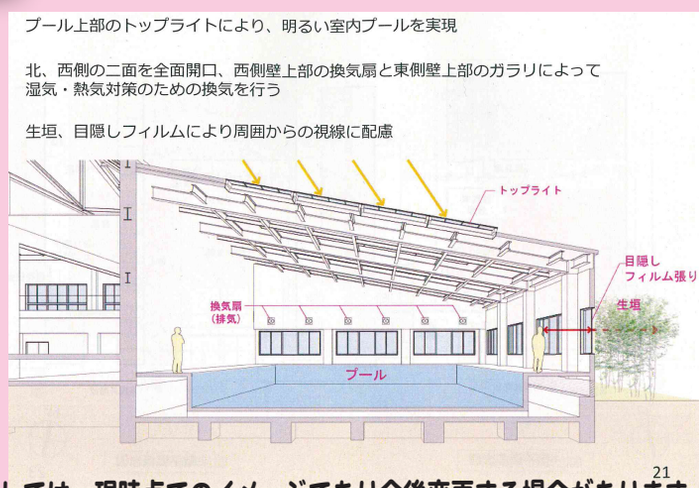
・四條畷西中学校「体育館・プール」

下記完成予想図は南側上部（国道１６３号側）から見たもので、右（東）側が既存校舎で、左（西）側が新しく建て替えられる体育館とプールです。体育館の奥（北）側にトップライトのついたプールの屋根が見え、また、校舎との間の２階部分にはクラブ用倉庫が南北に２０室作られる予定です。

- 体育館は、ハイサイド窓から自然採光を取り込み、温かみのある木質で内部を仕上げ、屋根頂部に換気ガラリを取り付け、通風・換気・採光を考えた設計です。
- プールは、国道１７０号＆１６３号や工場のある場所に建っている関係から、屋根と壁を設けることで水質汚染を防ぎながら、トップライトや窓を増やすなど明るさも考えた設計です。



完成予定は２０１８年９月末頃と、当初の計画より約３ヶ月の工期短縮を工事業者は考えられています。



※ 完成予想図につきましては、現時点でのイメージであり今後変更する場合があります。